

## 第4章 震災対策強化に係る基本コンセプト

### 1 前提条件

当プランにおける震災対策強化の基本は、阪神・淡路大震災や東日本大震災のような震災後であっても、給水が継続可能な危機耐性に富む水道システムを構築することであり、

- ◇大規模な津波を発生させる恐れのある大規模な海溝型地震の想定（STEP1）
- ◇震度7クラスの揺れを発生させる恐れのある都市直下型地震の想定（STEP2）
- ◇目標とするべき応急給水体系の設定とこれに伴い実施する震災対策の相乗効果

の3つの点を勘案した上で、震災対策の拡充・強化に関する総合的な施策の推進を図る。

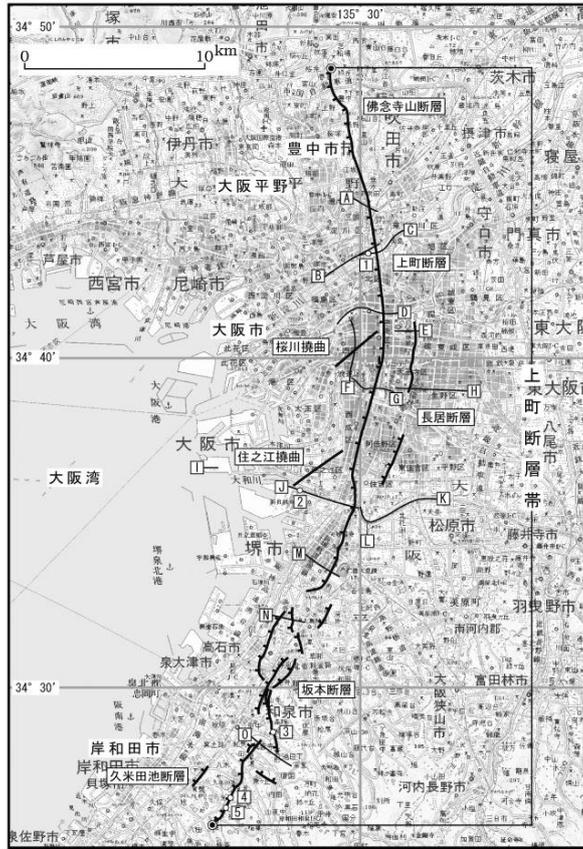
#### （1）想定地震の概要（「大阪市地域防災計画（震災対策編）」より抜粋）

##### 活断層に起因する直下型地震

	計測震度階	マグニチュード
上町断層帯地震	5強～7	7.5～7.8
生駒断層帯地震	5弱～6強	7.3～7.7
有馬高槻断層帯地震	5弱～6弱	7.3～7.7
中央構造線断層帯地震	4～5強	7.7～8.1

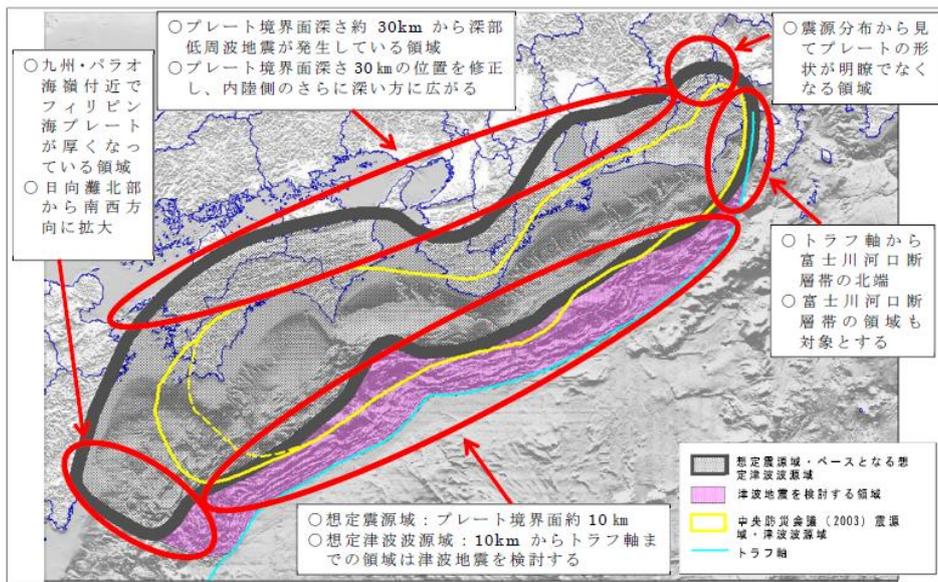
##### プレートに起因する海溝型の遠距離地震

	計測震度階	マグニチュード
東南海・南海地震	5弱～6弱	7.9～8.6
南海トラフ巨大地震	5強～6弱	9.0～9.1



市域の活断層

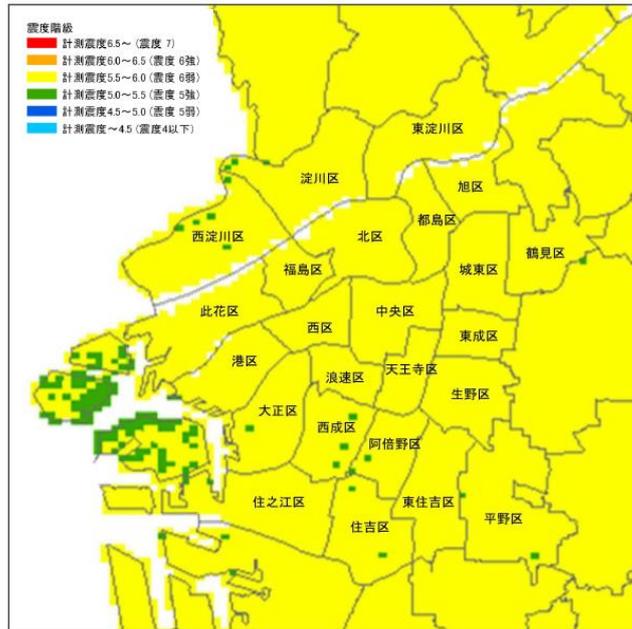
(出典：文部科学省 地震調査研究推進本部「上町断層帯」)



南海トラフ 新たな想定震源域・想定津波波源域

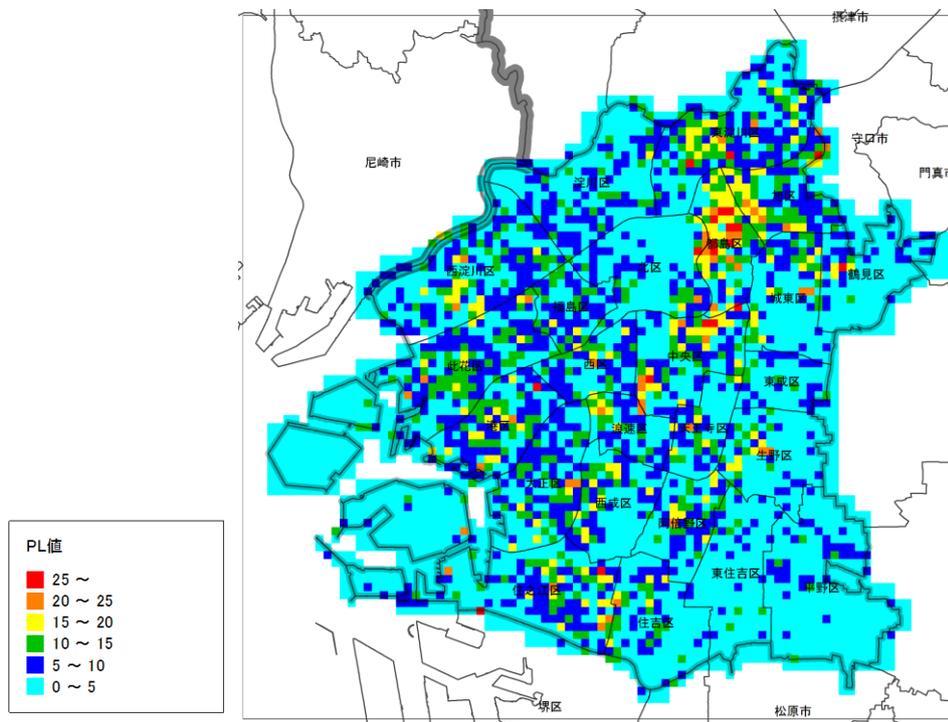
(出典：内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会について 中間とりまとめ」(平成 23 年 12 月 27 日公表))





予測震度（南海トラフ巨大地震）

（出典：大阪府 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会（第3回：平成25年8月8日）資料「震度分布」）

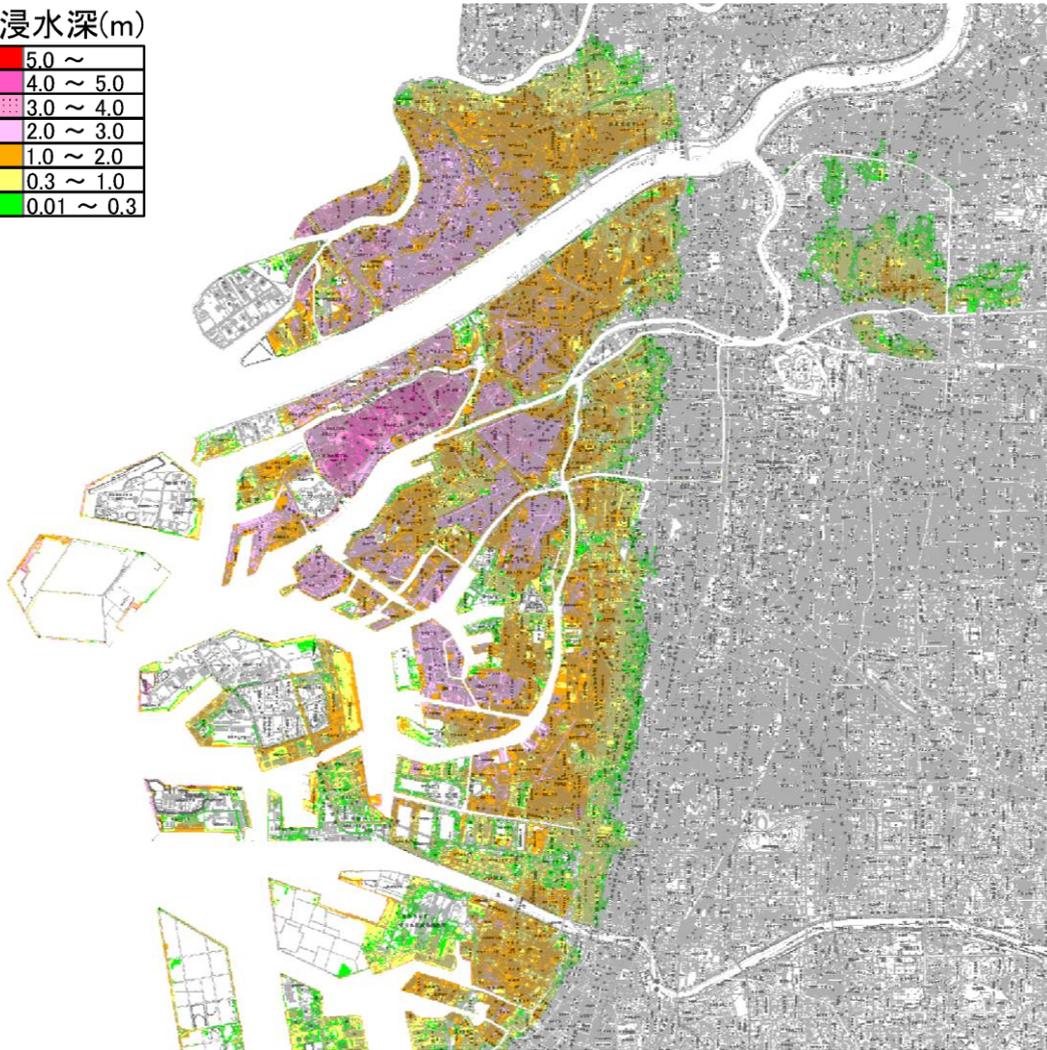


液状化予測（南海トラフ巨大地震）

（出典：大規模災害における被害予測及び災害対策に関する調査検討業務委託（平成30年3月））

浸水深(m)

5.0 ~
4.0 ~ 5.0
3.0 ~ 4.0
2.0 ~ 3.0
1.0 ~ 2.0
0.3 ~ 1.0
0.01 ~ 0.3



### 南海トラフ巨大地震浸水予測

(出典：大阪府 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会（第3回：平成25年8月8日）資料「大阪府津波浸水想定（全体図）」)